

第2回 大阪都市計画道路天王寺大和川線事業説明会 議事要旨

1 日 時 平成 28 年 8 月 29 日（月） 19 時から 20 時 30 分まで

2 場 所 住吉区民センター小ホール

3 参加者 78 名

4 議事要旨

地域協働の取組により策定した『地域協働でまとめた天王寺大和川線の基本計画検討案』を基に、関係機関と協議・調整を行い、“駅前広場と道路の形態”について基本設計を実施したので、その内容について、今後の整備スケジュールやその考え方もあわせて、建設局から市民の皆さまに説明。

【主な意見・質問等】 ○：主な意見・質問 →：大阪市回答

○本日の説明はみち・みどり会議で決めたコンセプト（車より人、道路より緑）に反している。これ以上、新たに道路は必要ない。もう一度みち・みどり会議を開催して、住民の意見を述べる場を作ってほしい。

→みち・みどり会議での地域案をベースに整備計画検討会議の議論を経て、取りまとめた検討案を踏まえ、現場状況を確認し、交通管理者とも協議しながら、基本設計を作成した。そのため、この基本設計は「風かおるみち」のコンセプトに基づく設計と認識している。具体の詳細設計などにあたって、沿道の方々には説明を行い、意見を聞く。

○今回の案が最終案か。

→最終案でない。基本的な道路線形や駅前広場の形状は確定するが、駐輪場の位置等の整備内容の詳細については、意見や要望を聴取の上、必要があれば変更する。

○今後も、地域協働で天王寺大和川線の事業を進めることで間違いないか。

→地域協働により、事業を進めていく。

○みち・みどり会議では、緑地の維持管理を地域住民で実施するという話であったが、どのように維持管理するかについては、今後検討するのか。

→維持管理は財源や費用負担の仕組み等も含めて、今後検討する。

○緑地の維持管理には散水栓が必要だが、必要な場所に設置されるのか。

→散水栓の設置については、緑地整備の詳細設計の際に検討する。

○我孫子町駅前の駐輪場は利用が多い。しかし、基本設計では駐輪場が駅から離れた位置にあるため、利用者は利用しづらいのではないか。

→駐輪場の位置については、今後、地域の意見や要望を踏まえて詳細設計に反映する。

○我孫子町駅から大和川北岸線の間には放置自転車の一時保管場所があるが、将来はなくなるのか。

→撤去し、道路整備することとなる。

○我孫子町駅から大和川北岸線区間には、歩行者が阪和線を横断できる通路（駐輪場と放置自転車の一時保管場所の間）があるが、それ以外にも新たに横断できる道路を整備してほしい。

→現行の通行機能は確保する方向で検討したい。さらに南の新たな東西の動線は、JR用地を通ることになるため、JRとの協議が必要である。

○長居駅周辺について、詳細設計前に地元の意見を聞いてほしいが、どうすれば意見を伝えられるか。

→街路課に連絡していただければ、対応する。

○鶴ヶ丘駅周辺において、車寄せは鶴ヶ丘駅南西に整備することになっていたはずだが、基本設計では、駅から離れた北東に設置することになっている。それは、どのような理由であるのか。

→車寄せは、車両の進行方向に対して、左側に設置する必要があるが、鶴ヶ丘駅南西は北行き一方通行であり、駅側に車寄せを設置できない。車寄せを駅側に設置できること、車寄せを設置できる空間があること、駅の出入口の配置、駅東側の住宅街への車両進入の防止等を考慮した結果、車寄せを北東の場所に設置することとした。

- 鶴ヶ丘駅のスケジュールには各種協議調整等と記載がないが、調整なしに進めるのか。
- 他の駅と同様な書き方はしていないが、28年度の欄に各種協議調整等としている。具体的には、来年度に鶴ヶ丘駅周辺の詳細設計を行う予定であり、今年度より調整を進めたい。
- 現在、大和川北岸線との交差部はバリカーで通行止めしており、みち・みどり会議では存置する方向で依頼してきたはずだが、バリカー撤去は決定事項か。
- 基本計画検討案では、存置することになっていない。当時の経過を再度確認するが、住宅地への車両進入を抑制し、大和川北岸線とのアクセス性の確保の観点から撤去したい。バリカー撤去については、今後、沿道の方々と相談する。
- 天王寺大和川線と大和川北岸線が交差する付近は、特に午前7時から午前10時までの間、自転車の交通量が非常に多いため、危険である。天王寺大和川線と大和川北岸線の交差点を設置するのであれば、交通安全の確保の観点から、信号や横断歩道を設置すべきである。
- 実態を調査のうえ、信号の設置等の安全対策について、交通管理者とも協議し、対応する。